

2022 年度 “学生創発プロジェクト” の募集について【募集要項】

教育・研究推進機構では、学生皆さんの主体的な学びを実現することを目的に、特色あるプロジェクトを支援するための制度を設けております。

このたび、学生さんの取り組みを支援する、“学生創発プロジェクト”を募集します。詳細につきましては、下記をご確認ください。知的探究心に溢れた皆さんの新しい発想を活かしましょう！これから世界を舞台に活躍するであろう、皆さんからの積極的な応募をお待ちしております。

1. 募集対象	日ごろから、皆さんが学生生活において、行なっている活動すべてが対象です！
募集テーマ	以下のテーマのうち、取組内容が最も近いものを選択してください。 Ⅰ. 国際社会への貢献 Ⅱ. 産業界との連携 Ⅲ. 地域社会との連携 Ⅳ. 幼保小中高との連携
募集単位	・本学学部生 3 名以上で構成される学生グループを対象とします。 ・取組責任者を 1 名決めてください。また、取組担当者として、その他全員の氏名を記載してください。 ・同一の取組内容で、学生グループを複数作り、別々に申請することはできません。 ※学生部による認可を得ている団体も申請可能です。採択された場合、学生部から支給される資金との調整を行います。
取組助言者	取組内容に関連し、適切な指導、助言を提供いただく取組助言者(教職員)を 1 名、決めてください。※取組助言者は提供資金の支給対象にはなりません。また、取組内容に関する責任は学生グループにあります。
2. スケジュール	募集開始 2022 年 4 月 20 日(水) 事前申請 2022 年 4 月 20 日(水)～5 月 20 日(金) ※申請書を作成し、所定のフォームからご提出ください。申請内容を事前に確認します。 募集説明会 2022 年 4 月 27 日(水) 昼休み 13:00～13:30 本 申 請 2022 年 6 月 3 日(金) 17:00 まで 一次審査 2022 年 6 月 7 日(火)～6 月 14 日(火) 予定※書面審査 二次審査 2022 年 6 月 22 日(水)～6 月 24 日(金)で日程調整 ※10 分のプレゼン(実施方法(対面 or 遠隔)は後日ご案内します)。 結果通知 2022 年 7 月 6 日(水)以降を予定
3. 申請書の提出	所定のオンラインフォームより提出【URL は こちら 】 ※所定の 申請様式 あり https://forms.gle/5kTL51bJ3VAxwmQMA
4. 支援対象期間	2022 年 7 月 1 日～2023 年 2 月 28 日までの活動に対する支援を行います。 ※取組自体は年間を通じて実施されているものであっても、資金の提供はこの期間の実施内容を対象とします
5. 提供資金	上限 10 万円
6. 採択件数	予算 30 万円内に収まるプロジェクト数を採択する予定です。(例: 10 万円×3 組)
7. 成果報告	取り組み終了時に、成果報告書および活動概要動画をご提出いただきます。また、広報活動にご協力いただくことがあります。
8. 留意事項	活動は感染防止対策を取ったうえで行ってください。 ※本学が定める「感染症拡大防止のための行動指針」、教育・研究推進機構において定める「各種事業実施の判断基準ならびに条件」により、活動に制限がかかる可能性があります。

資金の用途について

I. 事業推進費

取組を実施するために必要な消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、その他諸経費

II. 旅費等の補助 ※新型コロナウイルス感染防止の観点から、移動の際は事前に承認が必要です。

学生の旅費、宿泊費、検定料等の補助

- ・補助金の受給は、事後払いとなります。
- ・補助金額の算出のため、領収書の原本の提出が必要です。
- ・補助金を受給できる回数は、原則として1回です。

■支給対象及び補助金上限額

①海外もしくは国内研修旅行費

※本学が定める感染症拡大防止のための行動指針のフェーズにより、海外・国内研修旅行に制限がかかる可能性があります。

- ・往復交通費(渡航費)
- ・宿泊費(1泊8,000円を上限とする)
- ・現地交通費
- ・研修に伴う博物館や美術館等の入館料

	滞在が3週間以上	滞在が3週間未満
ヨーロッパ	100,000円	100,000円
北米・オセアニア	100,000円	80,000円
アジア	70,000円	60,000円
アフリカ	100,000円	100,000円
中南米	100,000円	100,000円

※国内はアジアを適用

前後に私用を挟む場合は、交通費(渡航費)の補助対象を片道分のみとします。

- ② ①を伴わない、イベント参加費や博物館・美術館の入館料、各種検定料補助
2,000円(合算可能)以上を補助対象とします。

III. 講演会の講師謝礼等の報酬

講師料、交通費、宿泊費。報酬が生じる場合は、事前にご相談ください。

【報酬支払基準】

予算費目	単位	金額
謝金	50分	3,194~8,118円(講師の職制によって異なる)
交通費	〈国内〉 ・「西南学院旅費規程」に定める交通費。 勤務先もしくは自宅の最寄駅(バス停を含む)のいずれか近い方から事業実施場所までの往復交通費(最も合理的な経済的なルート)を支給。 〈海外〉 ・「西南学院旅費規程」に定める交通費を支給。 ※海外から講師を招聘する場合は、必ず事前にご相談ください。	
宿泊費	原則1泊を上限として、10,000円を支給。	

【資金を使用できない項目について】

- ・用品代(3万円以上10万円未満で耐用年数が1年以上のもの)
- ・機器備品代(10万円以上で耐用年数が1年以上のもの)
- ・会議費や反省会、懇親会などの飲食代
- ・授業科目のテキスト・教科書、教材費
- ・他大学の院生・学生に支給が発生する事業
- ・寄付・賛助金
- ・申請書に記載していない取組について支出は認めません。
- ・「奨励費」など自由使途となるような補助金の支出も認められません。